

策定部会(2月3日開催)における意見に対する市の考え方

項目	No.	委員意見	市の考え方
社会福祉法人の役割	1	第1章7ページの圏域図に社会福祉法人を入れないことは理解した。第3章以降のどこかで、社会福祉法人や福祉施設に求められる役割を示してもらいたい。	御意見を踏まえ、本市における支援ネットワークのイメージ図に示す等、社会福祉法人等の役割の示し方について検討します。
相談支援機関	2	第1章1～2ページの表を整理し、巻末に相談支援機関の一覧を盛り込むという趣旨は分かるが、そのために相談支援機関等の問合せ先が削除された点是不親切ではないか。注釈を入れる等、巻末に相談支援機関等一覧があることがわかるよう示すべき。	御意見を踏まえ、巻末の相談支援機関の一覧に誘導できるよう注釈を追記します。
新型コロナウイルスの影響	3	新型コロナウイルスの感染拡大により、人と人とのつながりなど様々な影響を受けたと思うが、その点についての記述が必要と考える。例えば、3ページ「計画策定の背景と趣旨」に含めてもよいのではないかと思う。	新型コロナウイルスの影響については、計画上に示す必要があると考えています。具体的な記述内容については、庁内の状況も踏まえながら検討を進めます。
SDGs	4	地域福祉の取組とも関わりのあるSDGs（2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標）について、地域福祉計画の中で触れることはできないか。	SDGsについては、コラムとして掲載する方向で検討中です。
支援体制の整備	5	相談支援機関の一覧を作成することで、本当に支援が必要な人に支援が届くのかは疑問。相談支援先の市民周知を徹底したとしても、その場所に行くこと自体ができずに一人で課題を抱えている方がいるという現実を踏まえて、支援体制を整備してもらいたい。	部会長からお話いただいたとおり、相談支援機関の一覧を冊子に載せるだけではなく、地域全体で支え合える体制づくりの一環として、実際の地域福祉活動に生かす等、地域での支え合い・助け合いが促進されるツールの1つとして活用いただけるようなものにしたいと考えています。
市の魅力や特徴	6	第2章の11ページ「市の沿革と地域の特性（ブロック別）」について、住みよいまちであることや、本市を含めた中核市4市が隣接していることなど、市の魅力や特徴をもっと打ち出してもよいのではないか。	御意見を踏まえ、市の魅力や特徴に関する記述内容の充実について検討を進めます。
	7	第2章の11ページ「市の沿革と地域の特性（ブロック別）」に、学生数といった情報を入れることはできないか。学生が多いまちという本市の強みを生かし、地域福祉や防災の活動に学生の力も活用できないかと考えており、学生にとっても市の特性としてより現実的に感じてもらえるきっかけになるのではないかと思う。	

項目	No.	委員意見	市の考え方
社会福祉協議会の認知度向上	8	第2章38ページの吹田市社会福祉協議会の認知度に関して、認知度向上において「設置されていることを知らない層」に対する取組と、「設置されていることは知っているが役割は知らない層」に対する取組、それぞれ違うことを認識しておくべき。	市と吹田市社会福祉協議会の連携のもと、より効果的かつ効率的な周知方法を検討していくとともに、市や同協議会の取組を通して具体的な役割まで知ってもらえるよう、これまで以上に様々な機会を捉えて取組を進めていきます。
第3次計画における主な取組状況	9	第2章14～16ページについて、第3次計画における主な取組状況は重点取組のみ示すよう整理されたが、削除された基本的施策には障がい者相談支援センターの設置など重要かつ新しい取組も含まれていたと思う。こうした情報をどこかで示すことはできないか。	骨子案で示していた「基本的な施策の取組状況」の情報については、計画案本文中において、平成31年3月にとりまとめた第3次吹田市地域福祉計画中間報告書から抜粋した情報であること及び当該報告書は市ホームページで公開している旨を追記します。 また、障がい者相談支援センターの設置等、特徴的な取組については、コラム等で示せるよう検討を進めます。
ヤングケアラー問題	10	第2章49ページの「課題整理2 地域生活の課題を包括的に受け止めることができる体制づくり」に関して、課題の1つとしてヤングケアラーの問題を入れることはできないか。学校での福祉教育等、小・中学生の頃から福祉に積極的に関わる場面をつくっていくことにより、こうした課題も解決できるような社会を醸成していく視点も必要ではないか。	ヤングケアラーの問題は、市としても重要な課題と認識しています。 具体的な記述内容については、庁内の状況も踏まえながら検討を進めます。
課題の整理	11	第2章48～50ページの「吹田市の地域福祉における課題の整理」について、「課題の整理」と表現すると、これが全ての課題と捉えられることが懸念されるため、例えば、見出しを「主な課題の整理」とする等、誤解を招かないよう表現すべきではないか。	御意見を踏まえ、全ての課題ではないことが分かるような表現となるよう検討します。